

## 神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校の存続と市内での早期新築移転を 求める意見書

神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校がプレハブ造臨時校舎の利用を開始して17年が経過しており、一刻も早い教育環境の整備が求められている。

また、同校敷地内で発見され、2015年に国の史跡に指定された下寺尾官衙遺跡群保存活用計画の進捗も遅れている。平成30年に本市より「神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校の存続と市内での早期新築移転を求める意見書」を提出してから、5年が経過しているが、進展がないままである。

また、神奈川県は、既存の神奈川県立高等学校を統廃合する計画を進めており、北陵高等学校の移転はおろか存続さえも危ぶまれている状況にあり、本市の宝である同校の行く末に不安を抱いている。事態の進展を願う同校生徒及び保護者・卒業生・地域住民、その他関係者の思いを汲み、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校の存続と同校の市内での早期新築移転を実現されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月28日

神奈川県知事 へ

茅ヶ崎市議会